

2019(令和 1)年度 懇談会

富士吉田市立看護専門学校



本校は、学則第 32 条に基づき教育の充実を図り学校の目的及び社会的使命を達成するため学校における教育活動の状況について自ら点検及び評価しています。これに基づき学校評価の一貫として懇談会を開催しています。その結果を以下のとおりに報告致します。

日 時:2020(令和 2)年 2 月 5 日(水)14:45~16:05

場 所:講堂

参加者:教職員 14 名、学生 108 名



懇談会のプログラム

1. はじめのことば(委員)
2. 校長挨拶
3. 懇談会の目的・方法の確認(委員)
4. 意見交換
 - ① より良い学校にするための学校の取り組み
各課担当者からの説明・提案(庶務課課長補佐、看護科科长、実習調整者)
 - ② より良い学校にするための学生の取り組み(自治会代表、各学年代表からの提案)
5. 副校長挨拶
6. おわりのことば(委員)

懇談会での意見交換

項目	意見等
アンケートの匿名性について	(学生側)講義評価等のアンケートを匿名性にしてほしい。その理由は「個人的に評価されるため率直な意見が書けない」「遠慮し思っていることが書けない」などである。 (学校側)自分の発言に責任をもってほしい。アンケートに何でも不平不満を書くのではなく「どうすればよくなるのか」という視点で意見をいってほしい。そして、その意見を反映していきたい。また、「あの人がこう言っていた。この人がこう言っていた」と言っているわけでない。教職員と学生が何でもいえる関係性を今後もつくっていきたい。
異学年の学習交流について	(学生側)自分たちが下級生に教えることで技術の習得になった 先輩たちから看護過程の書き方や内容に関するアドバイスをもらえ有難い 教えることで学びが深まった 学習交流会以外でも異学年が交流できるよう自治会でも対策を考えている 縦割グループのように決まっていると他の学年に話かけやすい (学校側)今後も、異学年の学習交流会を前向きに考えていきたい
施設設備費について	(学校側)より良い環境を整えるために施設設備費を今後考えたい。その意見を聞きたい。 (学生側)父兄が学費や生活費を支払っているため自分たちだけで決められない。 奨学金やバイト代で生活している者にとっては学費が安いことは有難い

※ 懇談会を通して、一人一人が「自分が学校のために何ができるか」「こうすれば、もっと学校が良くなるのではないか」など考えていくことが必要であり、今後も教職員と学生間のより良い信頼関係を構築していきたい。